

両子の山が
呼んでいる
いい子になれと
呼んでいる

西の風

武蔵西小学校
校長室だより
第3号
2014(平成26)年
4月28日(月)

P T A・授業参観 お疲れ様でした 4 / 2 4

板書の構造化に着目して



授業参観では、教材教具を工夫したり、板書を工夫したりと、それぞれの学級で工夫が見られました。

1. めあて・課題

子どもに「めあて・課題」が何かわかりやすいように、「めあて」(課題)の表示を掲示したり、枠で囲んだり各学級でしていました。

めあての枠、まとめ等で西小スタイルを!

2. 考えの出し合い・話し合い

1年生では、ブロックを利用して自分の考えを出し

合わせていました。

3年生は、「私の宝物」の発表とその後の感想を出させていました。

4・5年生は、算数の複式の授業で、わたりをしながらの授業で、大変のようでした。

3. まとめ

本時で、学んだとは何か「まとめ」を赤線で囲んで分かりやすくしていました。

4. 評価・見取り振り返り・

6年生では、練習問題で振り返っていました。



1 時間完結型授業

1時間完結型授業は、学力的に厳しい子どもにとって優しいと言われていました。本時で何を学ぶか、何を学んだかが明確だからです。

1時間完結型授業とは、「毎時間のねらいとまとめ・評価を明確にする授業」です。「1時間完結」とは「導入、展開、終末のバランスが良い授業」です。それは、板書と大きく関わっていると思われます。



1 時間完結型授業における誤解? (山香昭指導主事)

【誤解 1時間完結=窮屈】

「導入を簡潔にすれば、子どもの意欲化が弱い?」「時間に追われて窮屈?」などがあります。しかし、子どもが自分の考えを持つのに5~10分。隣の人や班で学び合うのに10分。そして、学級全体で考える時間が15分。展開は合計30~35分。終末を5~10分とすれば、・・・導入は5分位でということ。

【誤解 授業の終末=評価小問題・テスト】

小テストの目的は、本時のねらいが達成できたか、「評価・確かめ」をするため。他の方法で評価・確かめができればそれでも構わない。